

秋田森林管理署湯沢支署	
タイトル	森林・林業再生に向けた現地検討会
実施年月日	平成25年9月25日(水)
実施場所	秋田県湯沢市秋ノ宮字川井山国有林25林班外
参加者	局署：東北森林管理局、秋田森林管理署、湯沢支署 13名 外部：雄勝地域振興局、平鹿地域振興局、湯沢市、横手市、羽後町 雄勝広域森林組合、横手市森林組合、北日本索道株式会社、株式会社沼倉組、株式会社山脇組 26名 計 39名
<p>【取組の概要】</p> <p>1 ナラ枯れ被害防除対策 ナラ枯れ防除及びカシナガ捕獲シート設置の実行箇所において、被害状況や駆除状況について説明し意見交換、情報交換を行う。</p> <p>2 山地災害の防止 治山事業の取組みとして豪雨災害関連緊急治山工事箇所において、荒廃した森林の復旧を図るため実施した治山工事について説明し意見交換を行う。</p> <p>3 森林共同施業団地の設定 路網の整備や間伐等を民・国が連携して実施する団地の設定の取り組みについて説明し意見交換を行うとともに、森林共同施業団地の推進を図る。</p> <p>4 間伐の実施 生産請負箇所において効率的な間伐の実施について意見交換を行う。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、管内市町村、森林組合、林業事業者等、林務担当者が出席し国有林の取り組み事例をベースに現地検討会を実施して、情報交換やPRをすることができた。 ・ 民国連携による森林共同施業団地設定に向けた検討及び施業集約化等に向けた普及・啓発の取り組みを行った。 ・ ナラ枯れの被害状況や駆除状況について情報共有し、今後の防止対策に生かすことができた。 	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路網の整備や間伐等を民・国が連携して実施する森林共同施業団地の設定に取り組んでもらいたい。 	
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 湯沢雄勝地域においてナラ枯れが進行している状況にあることから被害拡大防止のため、関係機関と連携を図り林野巡視の強化、早期駆除に取り組み情報の共有化を図る。 ・ 事業の効率化や低コストを推進するため森林共同施業団地の設定に向けて取り組む。 	



開会式



森林共同施業団地予定箇所での検討風景



カシナガ調査箇所での風景



ナラ枯れ調査箇所風景



治山工事箇所での説明風景



間伐箇所での説明風景